



# 原発ゼロ・増税ノー・9条守れ・頼れる年金を (部内資料)

## よし子事務所 ニュース

発行・中林よし子事務所 7月5日 ⑥  
〒690-0015 松江市上乃木 6-6-41  
電話 0852-28-2142 Fax 28-2140  
<https://www.nakabayashiyoshiko.com/>



# よし子さんさわやかに第1声

芦原 島根原発・エネ連事務局 福嶋 住民目線の会共同代表 保母 元島根大学副学長 山本 社民党県連代表らがあいさつ

「市民と野党の力を結集して、この1人区で必ず勝ちぬきたい」。さわやかな中にも力強いよし子さんの声が、松江駅前に響き渡った。

よし子さんの第一声には、芦原康江島根原発・エネルギー問題県民連絡会事務局員、後藤勝彦日本共産党県委員長、福嶋浩彦住民目線で政治を変える会・山陰共同代表、保母武彦元島根大学副学長、山本誉社民党県連合代表があいさつし、亀井亜紀子衆院議員からのメッセージが紹介されました。

第一声のマイクを握ったよし子さんは、年金問題、消費税増税、原発、憲法問題の政策を訴えました。そして「1人区での勝敗は日本の進路を決めるものです。安倍暴走政治をストップさせるため、無所属への私の決断をくみ取っていただき何としても勝たせてほしい。私は全人生をかけてたたかいぬく決意です」としめくり、第一声に集まった約250人の聴衆から大きな拍手や声援が飛び交いました。



## 米子、鳥取、出雲でも第一声

よし子さんは、4日、松江市での第一声のあと、米子市と鳥取市での第一声に臨みました。

米子では、長谷川稔元倉吉市長があいさつし、鳥取では、中宇地節雄新社会党鳥取県本部幹事長、米村正一社民党鳥取県連合幹事長らが応援スピーチしました。



## 目線の会から推薦状

「住民目線で政治を変える会・山陰」から、中林よし子さんへの推薦状が届きました。推薦状では「私たちは『私に任せておけ』という議員ではなく、市民と向き合い、市民と一緒に考え、市民とともに行動する議員が増えることを願っています」と訴えています。(写真は目線の会の福嶋共同代表とともに推薦状をかかげるよし子さん)



## ほかの野党から続々支援に

■9日(火)、よし子さんの応援に小池晃書記局長とともに立憲民主党の小川淳也衆院議員がかけつけ、12時10分～松江・県庁前で街頭演説。

■13日(土)、よし子さんの応援に穀田恵二国対委員長とともに立憲民主党会派の今井雅人衆院議員がかけつけ、午後2時半～松江イオン前で街頭演説。

## 自民党員がカンパを持って来所

3日午後、「私はバリバリの自民党員だが安倍政治はおかしい。こんどばかりは中林さんを応援したい」とカンパを持って事務所を来訪。

## 中林カー・当面の主な日程

- 7月5日(金) 出雲市多伎町～大田市久手町～大田町～江津市嘉久志町～浜田市田町～三隅町～益田市高津町～益田市駅前。
- 7月6日(土) 益田～津和野～吉賀～益田
- 7月7日(日) 終日、松江市内(14:00～七夕街頭演説)
- 7月8日(月) 美保関～島根～鹿島～八束～八雲～宍道

## 「住民第一」で国会論戦・交渉重ねる 島根原発の安全性確保へ (よし子の実績シリーズ ②)

中国地方で唯一の原発を持つ島根県。この間も様々なトラブルが発生。その都度、よし子さんは住民の安全確保の立場から政府交渉を重ねてきた。また、島根原発直近には宍道断層、鳥取沖断層など140kmを超す活断層が走っている。実効ある避難計画は未策定であり「使用済み核燃料」の処理方法も確立されていない。島根原発は再稼働も新規稼働もただちに中止すべきである。

よし子さんは、初当選して島根原発の安全性を追及するため衆院科学技術委員会に入り、国会論戦してきた。

